

「僕のは小さいよ」 「硬いな…砂なのかな?」 園長先生と、みんなで掘り起こした砂の山。
そこで何かを発見しました Q
「これは何?」「掘る前はなかったね」
「こっちにも落ちてる!」「いっぱいだ!」と
次から次へと見つけたのは、砂の塊…
自分達で掘ったからこそ、気付くことが
できた砂山の大きな変化。
たくさんの砂の塊に、興味津々です!

どうやって遊ぶかな?何に気が付くかな?

「先生、見て」 「大きいの見つけたよ。」





「シャベルで 叩いてみよう」 「カチカチ 音がする…」 「なんだか 割れそうだよ」

こうしたらどうなるかな? 今度はこれでやってみよう! と、子ども達なりに考え、 色々な方法で触れてみる姿がありました。 触っているうちに、割れることに 気が付いた子ども達。砂の塊1つでも、 たくさんの発見をしていました ⓒ

「足なら どうだ!」 「先生! 割れたよ」

